



## Prime-Cache & Pro-Cache Software v1.2.3 Release Notes

バージョン v1.2.3は、様々なシステム上の問題とパフォーマンスの改善を含むソフトウェアリリースです。

このソフトウェアでシステムを運用する際は、必ず最新のドキュメントを参照してください:

このリリースには最新版のソフトウェアに対応したマニュアルが含まれています。本体のネットワーク名を変更していない場合は、ブラウザから下記にアクセスすることで確認できます。

[http://archiveXX.local/User\\_Manual.pdf](http://archiveXX.local/User_Manual.pdf) (XXは、シリアルナンバーの末尾2桁です。)

### バージョン1.2.3に含まれる改善点

#### カタログデータベースのパフォーマンスが向上しました。

- ・ ファイルがより高速にデータベースに追加されるようになったため、アーカイブセッション全体のパフォーマンスが向上します。
- ・ カタログデータベースに登録されていないテープのTOC (Table of Contents) をロードするパフォーマンスが向上しています。

#### 個別のファイルをリストアするパフォーマンスが向上しました。

- ・ 以前のバージョンでは、個別のファイルをリストアする際に過度のテープシークを引き起こす巨大なアーカイブセッションを作成する事がありました。
- ・ バージョン1.2.3では、アーカイブセッションの大きさを可能な限り自動的に制限することによって、個別ファイルのリストアがより高速に行われるよう改善されました。

#### 2バイト文字の処理が最適化されました。

- ・ ドラッグアンドドロップ、検索、名称変更の各機能において2バイト文字の言語がサポートされました。

#### Cache-A共有ボリュームがMac上でも正しく表示されるようになりました。

- ・ Cache-A共有ボリュームがMac OS上のAFP共有において「vtape」ではなく「Cache-A」と表示されるようになりました。

#### 今回のバージョン1.2.3には、前回のバージョン1.2.1で対応した以下の改善も含まれています。

- ・ ネットワークや電源の不適切な切断、またはアクセス権の問題等から発生することがある破損ファイルを自動的に削除するようにし、これらの破損ファイルに因って引き起こされる様々な問題に対処しました。
- ・ 特定の状況下で、VTAPEにファイルがコピーされてもアーカイブセッションが自動的に開始されなかった問題を解消しました。
- ・ 特定の操作によってアーカイブファイルが複製され、必要以上にテープの容量を消費してしまう問題に対処しました。
- ・ メンテナンスターミナルポートに特定のモニターが接続した場合に発生した問題を修正しました。
- ・ 稀な文字を使ったファイル名のファイルをアーカイブ/リストアしようとした際に発生していたいくつかの問題を修正しました。
- ・ いくつかのユーザーインターフェイス上の問題が修正されました。



## Prime-Cache & Pro-Cache Software v1.2.3 Release Notes

### 運用上の注意点

注意点：LTOテープの容量以上のデータをテープまたはVTAPEにコピーしようとした場合でもシステムからの警告はありません。（Tape Spanningがオンに設定されている場合には問題ありません）

対策：挿入されているLTOテープの空き容量（テープ情報ウィンドウ）および、VTAPEの使用状況（システムステータスページ）を常に監視して手動でアーカイブの容量を管理してください。

---

テープメディアの扱い上、可変なブロックサイズ利用率、TARやファイルのオーバーヘッドサイズ、潜在的な不良ブロック領域等の可能性を考慮する必要があるため、LTO-4テープの場合は最大740GB、LTO-5テープを使用している場合は1,425GB以上にならないようにアーカイブサイズを調整していただくことをお勧めします。

---

Tape Spanningを使用する場合は、必ずアーカイブするのに必要な容量分のテープカートリッジを用意してから行ってください。テープを用意せずにこの作業を行った場合、アーカイブの作業は失敗しTOC情報が失われてしまいます。

注意点：システムが何も処理していないように見えても、実際にはアーカイブ作業中の可能性があります。

対策：システムを終了または再起動する前に以下の点に注意してください。

- ・ File ManagerのTransfer Listの右上にあるDrive Statusインジケータを確認してください。
- ・ ブラウザウィンドウの内容を再度読み込み、最新の状態に更新してください。
- ・ 本体フロントパネルにあるDriveステータスインジケータが消灯していることを確認してください。オレンジ色に点灯している場合は、システムが動作しています。この時に電源を落とすとアーカイブに影響する可能性があります。
- ・ システムを終了する場合は、ブラウザのメインメニューからShutdownを選択するか電源ボタンを短く押してください。ボタンを長押しする強制終了は非常用の機能です。
- ・ 定期的なファイルシステムチェックのため、起動に時間が掛かる場合があります。フロントパネルのディスクインジケータが点滅している場合、この作業を止めないでください。ファイルシステムに深刻なダメージを及ぼす可能性があります。

注意点: eSATAドライブはホットスワップに対応していません。

対策：eSATAドライブを使用する場合は以下の順に接続を行ってください。

- ・ まずeSATAドライブを接続してからドライブの電源を投入し、作動していることを確認してください。
- ・ その後にCache-Aシステム電源を投入するか、再起動して下さい。

ExpressCard接続やUSB接続のデバイスはホットスワップに対応しているので、デバイスが読み書きをしているとき以外は、いつでも接続したり取り外したりする事ができます。

### 既知の問題

問題：“Remove Files”がオン設定にしてある場合、注意を怠るとアーカイブするファイルの量が挿入されているテープの容量を上回り、不完全なアーカイブセッションの原因となる可能性があります。

回避方法：“Remove Files”をオフに設定するか、VTAPEの内容はVTAPEが一杯になってから削除する。VTAPE容量を上回る大きさのアーカイブセッションを行う場合は、ネットワークディスクか、外付けストレージデバイスからアーカイブする。



## Prime-Cache & Pro-Cache Software v1.2.3 Release Notes

**問題：**MacOSフォーマットの外付けストレージデバイスへの書き込みは、Mac OS Extended、Case-Sensitive (Not Journaled) [Mac OS 拡張 (大文字/小文字を区別、ジャーナリング無し)]フォーマットのものに限られません。

**回避方法：**MacOSフォーマットの外付けストレージデバイスへ書き込む必要がある場合、あらかじめディスクユーティリティを使って、“Mac OS Extended、Case-Sensitive” [Mac OS 拡張 (大文字/小文字を区別)] フォーマットにしておいてください。読み込みはどのMacOSフォーマットであっても可能です。

**問題：**Multiple Volumesモード (Tape Spanning) では、Write Verifyがオンの状態でフォルダ階層が深いデータをアーカイブしようとしている場合、テープをまたぐ箇所ファイルに問題が発生する可能性があります。

**回避方法：**いくつかのファイルが複数コピーされてしまうのを防ぐために、Tape Spanning機能を利用する場合はWrite Verify機能をオフにします。また、フォルダ階層の深い所にあるファイルがテープをまたいで記録された場合、リストアする際に間違ったディレクトリにこのファイルが復元されるエラーが発生する可能性があることに注意して下さい。

**問題：**Mac OS Xシステムから直接VTAPEフォルダに多くのファイルをコピーした場合、ファイル長が0のファイルがアーカイブされてしまう可能性があります。

**回避方法：**Mac OS XからVTAPEにファイルコピーする場合はフォルダに格納してから行うか、共有ボリュームのルートにコピーした後VTAPEフォルダへ移動させて下さい。

**問題：**VTAPEフォルダの名前を変更する事によってテープボリュームの名前を変更することは可能ですが、この方法は必ずしも正しく動作するとは限りません。

**回避方法：**テープボリュームの名称を変更する場合は、常にファイルマネージャの“Menu”ボタンから“Rename”を選択して下さい。

**問題：**大量のファイルを転送しようとしているときに、ウェブブラウザがページのスクリプトの処理が低下していることを警告するかも知れません。

**回避方法：**これは、コントロールしているPCのシステム上の問題なので、アーカイブには影響を及ぼしません。警告を無視するか、アーカイブ中はブラウザのウィンドウを閉じることによってそのままご使用いただいかまいません。

**問題：**カタログのバックアップを復元するためのGUIが用意されていません。

**回避方法：**将来のバージョンで対応予定です。バックアップから復元する必要がある場合は、Aテクニカルサポートにコンタクトしてください。

**問題：**アーカイブセッションをキャンセルしても、テープへの転送が停止しないことがあります。一時的に停止してもすぐに転送を再開してしまいます。

**回避方法：**現状では回避方法はあります。セッションをキャンセルし続けるか、システムを再起動してください。

**注意：**いずれにしても、アーカイブやリストアのセッションをキャンセルした場合、ファイルの転送は不完全に終わり、結果としてファイルの損失が起こる事に注意してください。

**問題：**Safariブラウザ上では、Cache-Aシステムのタイムゾーンではなくクライアントのタイムゾーンが表示されます。

**回避方法：**ありません。しかし、Cache-Aシステムとクライアントマシンが同じタイムゾーンに設定されていれば問題にはなりません。